

CUCM および UCXN のためのコモン PIN を有効にする方法。

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[機能概要](#)

[設定](#)

[トラブルシューティング](#)

[問題 1。](#)

[問題 2。](#)

[関連情報](#)

概要

この資料は Cisco Unified コミュニケーション マネージャ (CUCM) およびバージョン 11.5 の Cisco Unity Connection (UCXN) のために設定されるよくあるピンを設定するためにプロシージャを記述したものです。

前提条件

要件

Cisco はユーザにユーザおよび共用デバイスを作成する方法を知っていることを推奨します。

よくあるピンを設定し始める前に UCXN に CUCM を統合必要があります。

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報はこれらのソフトウェア および ハードウェア バージョンに基づいています

- Cisco Unified CallManager 11.5
- Cisco Unity 11.5

注: このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

背景説明

使用同じ PIN、従って複数の PIN 資格情報を管理する必要がないとき私会議、エクステンション モビリティおよび音声メール大会のような UC アプリケーションにアクセスすることをユーザーのニーズ。ユーザは能力/変更 a (自己注意ポータルによくある) PIN のように設定 するために。

管理者は PIN が異なっているまたは同期されるとき選択するために CUCM/Unity 間によくある PIN が使用する必要があるとき規定する機能を必要とします。管理者は特定の Unity に割り当てられるすべてのユーザ向けによくある PIN を有効にする機能がほしいと思います。

CUCM バージョン 11.5 で Cisco Unity Connection としてサーバタイプを『Application』を選択するときアプリケーションサーバ ページの下に New チェックボックス **イネーブル エンドユーザピン 同期**があります。

機能概要

- CUCM 管理 UI からのアプリケーションサーバ ページを通して CUCM と UCXN 間のエンドユーザピン同期を有効にするために提供して下さい
- ピン同期が有効になれば、そしてユーザが CUCM からのピンをアップデートするとき、BAT (Buk 管理 ツール)、AXL (Administrativve EXtensible Markup Language)、UDS (ユーザのデータ サービス) または自己注意ポータルはピン UCXN と同期されてなります
- ピンはピン同期が両方のアプリケーションで有効になるとき CUCM と UCXN の間でまたその逆にも synchronized なります
- デフォルトで、ピン同期は新しい Unity Connection レコードを作成することを試みるか、またはアップグレードをし、現在の単一性接続レコードをロードすることを試みる時無効であるはずでず。

設定

ステップ 1 :

CUCM のエンドユーザを作成し、デバイスによってそれを関連付けて下さい

呼び出します。

Unity にそのユーザをインポートして下さい

ステップ 3

CUCM の OS 管理へのナビゲート

ステップ 4

Tomcat 認証をダウンロードして下さい

ステップ 5

Unity の Tomcat 信頼としてこれをアップロードして下さい

ステップ 6

この場合 Tomcat 認証を Unity からダウンロードし、CUCM の Tomcat 信頼としてこれをアップロードして下さい

ステップ 7

Unity の資格情報で CUCM のアプリケーションのユーザーを作成して下さい

ステップ 8

このユーザに AXL のロールを割り当てて下さい

Permissions Information

Groups: Admin-3rd Party API, Application Client Users, Standard Audit Users, Standard CAR Admin Users, Standard CCM Admin Users [View Details](#)

Roles: **Standard AXL API Access**, Standard Admin Rep Tool Admin, Standard Audit Log Administration, Standard CCM Admin Users, Standard CCM End Users [View Details](#)

Add to Access Control Group
Remove from Access Control Group

ステップ 9

CUCM アプリケーション ユーザに AXL ロールを同様に割り当てて下さい

ステップ 10

この場合 Cisco Unity Connection にナビゲートし、イネーブル エンドユーザ PIN 同期をチェックして下さい

Cisco Unity Connection Administration
For Cisco Unified Communications Solutions

Navigation: Cisco Unity Connection Administration | Go
appadmin | Search Documentation | About | Sign Out

Cisco Unity Connection

- Video Services Accounts Status
- Dial Plan
 - Partitions
 - Search Spaces
- System Settings
 - General Configuration
 - Cluster
 - Authentication Rules
 - Roles
 - Restriction Tables
 - Licenses
 - Schedules
 - Holiday Schedules
 - Global Nicknames
 - Subject Line Formats
 - Attachment Descriptions
 - Enterprise Parameters
 - Service Parameters
 - Plugins
 - Fax Server
 - LDAP
 - SAML Single Sign on
 - Cross-Origin Resource Sharing (CORS)
 - SMTP Configuration
 - Advanced
- Telephony Integrations
 - Phone System**
 - PORT Group
 - Port
 - Speech Connect Port
 - Trunk
 - Security
- Tools
 - Task Management
 - Bulk Administration Tool

Edit AXL Servers

Phone System Edit Refresh Help

Save

AXL Servers

Delete Selected Add New

Order	IP Address	Port	
0	10.106.123.111	8443	Test

Delete Selected Add New

AXL Server Settings

Username: cisco

Password:

Cisco Unified Communications Manager Version: 5.0 or Greater (SSL)

Enable End User PIN Synchronization for Primary AXL Server

Ignore Certificate Errors

Save

ステップ 11 :

CUCM ナビゲートから System>Application server>Add への (既に追加されなくて) Cisco Unity

Connection として新規アプリケーション アプリケーション サーバ

手順 12 :

チェックボックス **イネーブル エンドユーザ ピン 同期** をチェックして下さい

Status

Status: Ready

Application Server Information

Application Server Type Cisco Unity Connection

Name* CUC

IP Address* 10.106.107.145

Available Application Users

- c
- CCMSysUser
- WDSysUser
- CCMQRTSysUser
- IPMASysUser

Selected Application Users* appadmin

Enable End User Pin Synchronization

Save Delete Copy Add New

手順 13 :

『SAVE』 をクリックして下さい

正常なメッセージ ピン 同期は受け取られます。

トラブルシューティング

問題 1。

エラーメッセージ「ピン 同期ではないです確認されない認証が有効に されなかった原因」。は

ステップを解決して下さい

- チェック 認証はきちんとアップロードされます。
- Unity Connection をです到達可能チェックすれば有能な正常にログインです。

問題 2。

エラーメッセージ「ピン 同期は HttpsURLConnection 応答コードが有効に されなかった原因ではないです: 401: 不正」

トラブルシューティングの手順

- イネーブル エンドユーザ ピン 同期をチェックしたようにして下さい
- アプリケーション ユーザに AXL ロールを割り当てたようにして下さい。

関連情報

https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/11x/administration/guide/b_cucsag/b_cucsag_appendix_01111.html#id_16699